

なからぎ

208号

2015年1月

少年の心をつかんだ世界

学長 築山 崇

小学校低学年の時に「世界文学全集」を親から与えられ、積み木代わりにして遊んでいた。およそ本好き、読書家とは縁遠いそんな私でも本との出会いと呼べる体験を見出すことができる。小学校の図書館の蔵書だったか、ジュール・ベルヌの『15少年漂流記』は、それは楽しく夢中で読んだ。無人島に漂着した15人の子どもたちが、知恵と集団の力で2年間にわたって生き延び、無事故郷に帰還を果たす物語は、実に胸躍るものであった。その時期に前後してやはり夢中で読んだのが、『地球最後の日』。太陽系に侵入した双子の惑星の一方が地球に衝突し地球もろとも消滅してしまうが、残る一つの惑星が地球の公転軌道にすっぽり収まり、地球から脱出していた人類と動植物の一群がそこに移り住み、新しい地球建設を始めるという、荒唐無稽な物語である。しかし、物語全体に満ちる緊張感と未来への希望を実感させる結末は、少年の心を満たすに充分であった。このあと、全15巻ほどの子ども向けSF全集を読みふけり、中学に入るころには、成人向けの月刊雑誌『SFマガジン』を毎号購読するまでになっていた。私をSF（空想科学小説）好きにさせたのは、急速な科学技術の進歩を実感させてくれた時代状況に違いない。東海道新幹線、首都・名神高速道路の開通、テレビはじめ家電製品の普及、ついには人類の月面着陸などを実現していった科学と技術に対する信仰に近い思いが培われていたように思う。

ところが、中学生期の読書は思わぬ方向に向かう。SFマガジンに取って代わったのは、太宰治の一連の作品であった。『富嶽百景』『津軽』『ヴィヨンの妻』『斜陽』『人間失格』『桜桃』などの作品の描く世界が、何故かスルスルと自分の中に入ってきて心地よさを感じていた。中学の3年間は、一人の親友を除いて友人関係が徐々にやせ細り、自閉していった時期であった。空想の世界に夢を描いて遊ぶ日々から、鬱々と自己に沈潜することでその尊厳を守ろうとする日々へ、それは大人の入り口に差し掛かった少年の内面がたどった軌跡だったのだろうか。

こうして振り返ってみると、読書は内面の欲求と呼応するときのみ、自分自身のものとなるというような感慨に至るが、それは、ずいぶんと時を隔ててのことである。これに続く青年・成人期の精神の遍歴はまたの機会に……。

(つきやま たかし)

- 作品メモ ☆ジュール・ベルヌ『15少年漂流記』新潮文庫で入手可（原題 *Deux ans de vacances* 『二年間の休暇』1888）（請求記号 933.6 Ⅴ 開架）
☆フィリップ・ワイリー、エドウィン・バーマー『地球最後の日』創元SF文庫で入手可（原題 *When Worlds Collide* 1933）1951年に映画化もされている。（請求記号 933.7 Ⅵ 開架）
☆『SFマガジン』1959年創刊、早川書房より『S-Fマガジン』として現在も刊行中。

『S-Fマガジン：空想科学小説誌：fantasy and science fiction』1巻1号（1959.12）月刊 当館未所蔵
太宰治作品は『太宰治全集』（筑摩書房1989-1992刊）に収蔵。（請求記号 918.68 Ⅱ D Ⅱ 1～13）は、2階閲覧室入口に配架していますので御活用ください。

「研究すること」とは

図書館運営委員 宮 藤 久 士

近頃は、諸事に忙殺され専門書以外はあまり本を読む機会が少なく、大変残念に感じているが、そんな中で最近読んだ本で大変興味深かった 1 冊をご紹介します。ブルーバックスの『早すぎた発見、忘れし論文』（大江秀房著、講談社、2004 年）である。

そのタイトルが示す通り、現代の我々の社会基盤に関わるような大きな発見をしながら、その当時は全く理解されず、時代の中に埋もれてしまった科学者の生涯が描かれている。今では中学校や高校の教科書にも載っており、理系文系を問わず聞いたことがあるアボガドロ、メンデルなどの科学者たちが、どのような時代に、どのような環境で研究を行い、その研究成果はどのように扱われたのかが分かりやすく解説してある。本書の内容について、本文を引用しつつ少し紹介してみたい。

アボガドロは、今では誰もが学習する原子と分子を初めて区別した人物である。当時、物質が原子と呼ばれる粒子から作られていることは分かっていた。しかしながらその概念だけでは、ゲイ・リュサックが発表した、気体と気体が反応して別の気体ができる際には、それらの体積比は簡単な整数比になるという「気体反応の法則」を説明することができなかった。アボガドロは、この問題を解決するため、異種の原子間だけでなく、同種の原子間の結合によっても物質が生じることを仮定し、これに「分子」という名称を与えた。水素、酸素、窒素などの気体は、二原子からな

る分子であるという概念を導入したのである。さらに、「同温同圧の下では、同体積中に同数の分子を含む」という概念も提唱した。今では化学の授業で学習するアボガドロ数である。これらの考え方は、現代化学の根底をなすほど重要な発見である。しかしながら、アボガドロの死後、イタリアの化学者カニッツァーロがその重要性に気づき、多くの化学者が認めるまで、アボガドロが提唱してから約 50 年もの間放置されていた。

生物の初期に学習する有名な 3 つの遺伝の法則、「優性の法則」、「分離の法則」、「独立の法則」は、その発見者の名前を取って、メンデルの法則と称される。メンデルは修道士の活動とともに、植物の改良実験を行っていた。そんな中、ウィーン大学で動物学、植物形態学、分類学、物理、数学、化学、医化学など様々な学問分野を学ぶ機会を得ている。特に物理と数学は好きで、なかでもウィーン留学中に、物理学者エティンクスハウゼンの“組み合わせ理論”を学んだことが、メンデルの遺伝に対する新しい発想へ寄与したのではないかと考えられている。メンデルは 8 年間もえんどう豆の交雑の研究を行い、3 つの遺伝の法則を発見し、積極的に講演発表も行った。しかしながら、公表してから 35 年間、誰にも認められることはなく、その間にメンデルはこの世を去ってしまった。しかし彼は、「私の実験は大きな満足を与えてくれた。この結果を世界が認めてくれるのは、それほど先のことではない」と確信しており、その言

葉通り、彼の死後間もなく、別の科学者がメンデルと同じ法則を発見、発表したことで、メンデルの業績が見直されることとなった。

キャベンディッシュは外部との接触を嫌ったため、科学の発展にとって多くの極めて重要な成果を得ていながら、公開されたのは一部であり、全業績が世に知られるまでに彼の死後110年もの長い年月がかかっている。彼は、万有引力定数の測定に成功しており、また、クーロンの法則をクーロンよりも10年早く発見している。金属を硫酸や塩酸に浸すと水素が発生すること、炭酸カルシウムを強熱したり、硫酸や塩酸に溶かすと二酸化炭素が発生することも見出している。さらに、燃焼に関係する気体は、空気中の5分の1(20.833%)であることも明らかにしている。これに付随して、水が水素ガスと酸素ガスが2:1の割合で反応して得られる化合物であることも証明している。さらに、空気中にアルゴンなどの希ガスが含まれていることも発見している。ここまで書くと、キャベンディッシュがいかに偉大かが理解できるが、もっと早くこれらの業績が埋もれることなく、世に知られることとなっていれば、科学の進歩はもっと早まったと考えられている。

この原稿を執筆している2014年12月は、赤崎勇博士、天野浩博士、中村修二博士が、青色発光ダイオード(LED)の発明に関する研究でノーベル物理学賞を受賞し、日本では大変なお祝いムードである。この青色LEDに関する研究は、上記のアボガドロ、メンデル、キャベンディッシュの研究成果のように埋もれることはなく、我々の生活に大きな恩恵をすでにもたらしている。また、現代は情報化社会であると同時に、グローバルな時代

であるため、世界中の人々が同じ情報を瞬時に共有することが可能である。したがって、研究成果が埋もれることなどないようにも思える。しかしながら、研究成果に価値が見出されるかどうかは、時代のニーズやタイミングなども大きく関わってくるため、今はまだ知られていない研究成果があるかもしれない。

一般に、研究者や学生の方々が行っている研究が、すぐさま一般の多くの人に認められることは、極めてまれである。今回紹介した本書では、不遇の科学者たちの生き方、考え方を知り、いろいろな教訓を得ることができるが、その中でも私が一番強く感じているのは、「粘り強く継続する」ことが大事であるということである。研究そのものだけでなく、成果の発信についても継続が大事であると思っている。ぜひ、研究の合間にでもお読みいただき、「研究すること」とは、という、哲学的な命題について、たまには考えてみてはどうだろうか。

(みやふじ ひさし)

生命環境科学研究科 准教授)



早すぎた発見、忘れし論文
大江秀房 著
講談社 (2004)

『早すぎた発見、忘れし論文：常識を覆す大発見に秘められた真実』（請求記号 402.8 || O 開架）は、2階閲覧室入口に配架していますので御活用ください。



府大生の読書傾向

～ 2014 ～



毎年恒例！ 前年（暦年）のベストリーダーです。

2014年1月から12月の間に貸出回数が多かった本を一覧にしました。

昨年は、下記の表のとおり、『史記』が第1位です。しかも2位以下を大きく引き離しての堂々の第1位です。『史記』の貸出回数が21回。2位の『永遠の0』は12回、46位でも6回（同じ貸出回数の場合、利用者数が多いものが上位ということにしました）なので、ダントツです。

ここ数年、同じ新釈漢文大系の中の『蒙求』が上位に入っていました。しかし、今回はベスト100までの中にも見当たりません。授業の中での課題は出続けているようですが、どうやら「1冊しかないから必要な部分をコピーして利用しよう。」ということになったようです。

現在、前年度と比較して貸出冊数が700冊近く減少しています。

そういえば、話題の小説のリクエストが減っています。最新の芥川賞や直木賞の受賞作が借りられないまま、新着図書コーナーに展示され続けていたり、毎年ノーベル賞候補になる作家の最

表 2014年

順位	タイトル/著者	請求記号 所在は開架
1	史記2 (新釈漢文大系: 38-41, 85-92, 115-116)/[司馬遷撰]/吉田賢抗著	222.03 S 2
2	永遠の0 (ゼロ) (講談社文庫: [ひ-43-1])/百田尚樹[著]	913.6 H
3	岩波講座日本歴史 第10巻: 近世1 / 大津透 [ほか]編集	210.08 I 10
4	疾風ロンド (実業之日本社文庫: ひ12)/東野圭吾著	913.6 H
5	桐島、部活やめるってよ/朝井リョウ著	913.6 A
5	きみはボラリス (新潮文庫: み-34-10)/三浦しをん著	913.6 M
7	さらさらひかる (新潮文庫: え-10-1)/江國香織著	913.6 E
7	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 / 村上春樹著	913.6 M
9	大学1・2年生のためのすぐわかる有機化学/石川正明著	437 I
9	吸光・蛍光分析 (分析化学実技シリーズ: 機器分析編: 1)/井村久則 [ほか] 著/日本分析化学会編	433.08 B 1
11	空飛ぶ広報室/有川浩著	913.6 A
11	まほろ駅前番外地 (文春文庫: [み-36-2])/三浦しをん著	913.6 M
11	遺伝子工学: 基礎から応用まで/野島博著	467.25 N
11	キケン (新潮文庫: 9728, あ-62-2)/有川浩著	913.6 A
11	御伽草子 (日本古典文学大系: 38)/市古貞次校注	918 N 38
16	21世紀家族へ 第3版 (有斐閣選書: [1613])/落合恵美子著	367.3 O
16	新 TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー 990/神崎正哉著	830.79 K
18	行政救済法講義 第3版/芝池義一著	323.96 S

順位	タイトル/著者	請求記号 所在は開架
18	原子・分子の量子論 (新・物質科学ライブラリ: 2. 基礎物理化学: 1)/山内淳著	431 Y 1
20	「学級」の歴史学: 自明視された空間を疑う (講談社選書メチエ: 325)/柳治男著	374.1 Y
20	藤原定家全歌集: 訳注 上巻/久保田淳著	911.148 K 1
22	化学 (木材科学講座: 4)/城代進, 鮫島一彦編	657.08 M 4
23	「自然」を生きる/福岡正信著/金光寿郎聞き手	615.71 F
24	ジャック・ローラー: ある非行少年自身の物語/クリフォード R. ショウ著/玉井真理子, 池田寛訳	368.71 S
24	史記1 (新釈漢文大系: 38-41, 85-92, 115-116)/[司馬遷撰]/吉田賢抗著	222.03 S 1
24	こゝろ 改版 (角川文庫)/夏目漱石[著]	913.6 N
24	Nのために/湊かなえ著	913.6 M
24	何者/朝井リョウ著	913.6 A
24	女のいない男たち/村上春樹著	913.6 M
30	神去なあなあ日常/三浦しをん著	913.6 M
30	クジラの彼/有川浩著	913.6 A
30	小さいうち/中島京子著	913.6 N
30	ペンギン・ハイウェイ/森見登美彦著	913.6 M
30	異類の歌合: 室町の機智と学芸/齋藤真麻理著	911.18 S
30	定本西鶴全集 第9巻/井原西鶴著/額原退蔵, 暉峻康隆, 野間光辰編	913.52 I 9
36	細胞生物学 (ブルーバックス: B-1672. カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書: 第1巻)/D・サダヴァ他著/石崎泰樹, 丸山敬監訳・翻訳	460 S 1
36	生化学・分子生物学編 (理系なら知っておきたい生物の基本ノート)/山川喜輝著	460 R 1

新の小説も、リクエストはされるものの予約が入りません。

しかし、一方では、新聞連載から昨年100周年を迎えた夏目漱石『こころ』が24位。シェイクスピアの『ハムレット』が46位。ずっと読み続けられている名作が、最近ドラマ化や映画化された小説と肩を並べてランクインしている事実には、まだまだ本もスマホには負けていないぞと思ったりします。

本を読みたいけど、何をよんだらいいのだろうか?? ?と思ったら、図書館の中でキョロキョロしてみてください。本誌では毎号、先生方の学生時代の読書体験やおすすめ本を紹介し、それを2階閲覧室入口に展示しています。もちろん貸出可能です。その隣の新着図書コーナーの一角には、特集コーナーを設けて本を紹介しています。昨夏のファッションを特集した時は、東書庫にある「服飾研究」の図書を多く展示しました。普段はわざわざ書庫の中に行かないと見られない本をすぐに手にとってみることができたため、展示する図書が次々貸し出されていきました。

論文を出して、試験が終わって、発表が終われば、春休み。図書館の開館時間は短くなります(17:00閉館)が、貸出期間は長くなり冊数も増えます(12冊)。これからの人生を豊かにするためにじっくりと、あるいは手あたり次第に本を読んでもみるというのはいかがですか？

順位	タイトル/著者	請求記号 所在は開架
38	NMR (分析化学実技シリーズ: 機器分析編: 3)/田代充, 加藤敏代著/日本分析化学会編	433.08 B 3
38	基礎から学ぶ遺伝子工学/田村隆明著	467.25 T
38	1 駅 1 題新 TOEIC TEST 読解特急[1]/神崎正哉, TEX 加藤, Daniel Warriner 著	830.79 K 1
41	中国の妖怪 (岩波新書: 黄-235)/中野美代子著	388.22 N
41	きりしたん史再考: 信仰受容の宗教学 (グローバル新書: 6)/東馬場郁生著	198.221 H
43	循環型社会: 持続可能な未来への経済学 (中公新書: 1743)/吉田文和著	518.523 Y
43	ヨーロッパ建築史/西田雅嗣編	523.3 N
43	副葬品の型式と編年(古墳時代の考古学: 4)/一瀬和夫, 福永伸哉, 北條芳隆編	210.32 K 4
46	不平等の再検討: 潜在能力と自由/アマルティア・セン[著]/池本幸生, 野上裕生, 佐藤仁訳	316.1 S
46	アメリカの歴史: テーマで読む多文化社会の夢と現実 (有斐閣アルマ: Interest)/有賀夏紀, 油井大三郎編	253 A
46	京都観光学のススメ/井口和起[ほか]著	689.0216 I
46	死神の精度/伊坂幸太郎著	913.6 I
46	後ろから読むエドガー・アラン・ポー: 反動とカラクリの文学/野口啓子著	930.268 P
46	アトキンス物理化学 第8版 下/Peter Atkins, Julio de Paula著/千原秀昭, 中村亘男訳	431 A 2
46	すべてがFになる: The perfect insider (講談社文庫: [も28-1])/森博嗣[著]	913.6 M
46	図説纏足の歴史/高洪興著/鈴木博訳	383.7 K
46	植物図鑑/有川浩著	913.6 A
46	建築の色彩設計法/日本建築学会編	529 N

順位	タイトル/著者	請求記号 所在は開架
46	遺伝子組換え食品: どこが心配なのですか?/Alan McHughen著/渡辺正, 久村典子訳	498.54 M
46	子どもが減って何が悪い! (ちくま新書: 511)/赤川学著	334.31 A
46	すぐわかる日本庭園の見かた/仲隆裕, 今江秀史, 町田香執筆	629.21 N
46	シュエカツ/石田衣良著	913.6 I
46	可視・紫外分光法 (分光測定入門シリーズ: 5)/日本分光学会編	433.57 N 5
46	農業問題入門 新版/田代洋一著	612.1 T
46	アトキンス基礎物理化学: 分子論的アプローチ 上/Peter Atkins, Julio de Paula, Ronald Friedman[著]/千原秀昭, 稲葉章訳	431 A 1
46	偉大なる、しゅららぼん/万城目学著	913.6 M
46	細胞生物学・遺伝学編 (理系なら知っておきたい生物の基本ノート)/伊藤和修著	460 R 2
46	ハムレット (ちくま文庫, シェイクスピア全集: 1)/シェイクスピア著/松岡和子訳	932.5 S 1
46	イラスト基礎からわかる生化学: 構造・酵素・代謝/坂本順司著	464 S
46	オレたち花のバブル組 (文春文庫: [い-64-4])/池井戸潤著	913.6 I
46	アンドロイドは電気羊の夢を見るか? 58刷 (ハヤカワ文庫: SF229)/フィリップ・K・ディック著/浅倉久志訳	933.7 D
46	ベテロの葬列/宮部みゆき著	913.6 M

※順位欄の数字が白文字は、学生希望図書。

(学生希望図書としてリクエストされたものでも、図書館費で購入したり、寄贈を受けたものは、このリストでは学生希望図書になっていません。)



電子ブックを使ってみよう!!

すぐにでも使いたくなる電子ブックの魅力をご紹介します♪

電子ブックとは、ネット上で閲覧できる電子媒体の本のこと。

NetLibrary(EBSCOhost eBook Collection)、eBookLibrary(Maruzen eBook Library)で合計25タイトルの和書を利用することができます。(洋書については、3035タイトルが利用可能です。)

OPACでの検索が可能で、検索結果画面から簡単に本文へアクセスできるようになりました。

〈『中国学芸大事典』を検索してみた場合〉

検索結果詳細画面へ

電子ブック

電子ブックのサイトへ

本文画面へ

閲覧終了
利用を終えるときは
クリック

電子ブックだからできること

- ▷パソコンから簡単に閲覧ができる!
- ▷冊子体では貸出不可の雑誌も利用できる!
- ▷本文検索(NetLibraryのみ)やコピー&ペーストができる!

★一度に60ページまでは印刷もできます。
※著作権は必ず守りましょう!!

★同時にアクセスできるのはひとりまでです。

〈NetLibrary、eBookLibraryの違いとは…〉



和書は国史大系の7タイトルの閲覧が可能
学術認証フェデレーションに登録をすると学外からもアクセスできます

『中国学芸大事典』、東洋文庫を含む18タイトルの利用が可能
学内のパソコンでのみ閲覧ができます

カレンダー

開館時間

9:00~ 21:00	9:00~ 17:00	休館 土日祝 システム更新
----------------	----------------	---------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストをご利用ください。

2015年1月							2015年2月							2015年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31				

★冬休み貸出の返却日 1/15(木)

★春休み貸出開始 2/2(月)~貸出冊数12冊
返却予定日: 在学生 4/7(火)
卒(修)業予定の方 2/27(金)

★3/16(月)~31(火)
図書館システム更新のため、2階閲覧室休室
学内の方は、3階各室は利用できます。